



たより 月 二

いちよう・なわとび・時計塔

令和3年度7月号
令和3年6月30日(水)
中央区立月島第二小学校
校長 柄澤 武志
中央区勝どき1の12の2
(3531)7268

デジタル・シティズンシップ

副校長 野々村 麻奈

文部科学省が示す GIGA スクール構想は、数年かけて段階的に整備される計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う全国一斉臨時休業時の学習の保障や「学びを止めない」手段として急遽、計画は前倒しされ、進みました。

本校においては、中央区教育委員会の指導の下、文部科学省が示す GIGA スクール構想の実現に向けて、令和3年4月から全児童に1人1台のタブレット端末を貸与し、ICT機器を活用した教育活動に取り組んでいます。

Society 5.0 時代に生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムであり、学校内外のあらゆる場所での ICT の活用が日常のものになっています。本校でも、校内では教科・領域等、様々な授業場面でタブレットの活用が観られます。また、毎日家庭に持ち帰ることで、デジタル教材を活用した家庭学習等の支援や、教員と子ども等のコミュニケーションツールとしての利活用も益々、期待できます。

ところが、1人1台の端末の持続的な活用は、子どもたちの情報環境を大きく変え、導入期においては、様々な課題が生じます。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主管研究員・准教授の豊福晋平氏は、GIGA スクール構想導入後、①わくわく期（期待・効果が高まる）②やらかし期（冒険と挑戦を繰り返し、あらゆる課題が噴出する）③安定期（ICTに関する課題が収束する）があると指摘しています。そして、学校内外の課題の噴出は、数か月で収束するということが、場当たりの抑制や禁止的なルールは規制強化の一途をたどると警笛を鳴らしています。

「デジタル・シティズンシップ」とは、コンピュータのよき使い手とともに、社会のよき担い手になることを大切にする視点です。これまでの情報モラル教育では、安全や健康を特に重視し、安全かつ責任をもって行動する心情や、「～してはいけない」という指導が中心になってきました。しかし、「デジタル・シティズンシップ」の視点をもつことで、子どもたちが1人1台の端末の持続的な活用の環境下で、よりよく行動するための理由と方法を主体的に学んだり、情報技術に関する人的、文化的、社会的諸問題を理解し、法的・倫理的に振る舞うための能力とスキルを育成したりすることの大切さに気が付きます。子どもたちは今、「やらかし期」かもしれません。でも、ワンサイドジャッジをせず、次世代の創り手である子どもたちが10年後、20年後…、社会で活躍する姿を思い浮かべながら、共に歩いていただければ幸いです。今後とも本校の教育活動へのご理解、ご支援をお願いいたします。

7月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	木	センター教室（3）
2	金	センター教室（3）
3	土	土曜授業日 PTA 役員会
4	日	
5	月	保護者会（1～3・陽だまり、勝ちどき）
6	火	安全指導 委員会活動
7	水	開校記念日 児童集会 センター教室（陽）水道キャラバン（4）
8	木	校内研究授業（4-3）
9	金	保護者会（4～6）
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	クラブ活動
14	水	避難訓練
15	木	学校保健委員会 なわとび検定
16	金	縦割り班活動
17	土	
18	日	
19	月	給食終 宇佐美学園終業式
20	火	終業式
21	水	夏季休業日始
22	木	海の日
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

生活目標：正しい言葉づかいをしよう
保健目標：規則的な生活をおくろう
給食目標：よくかんで食べよう

7月の学納金引き落とし
7/20(火)

9/1(水) 2学期始業式
(4時間授業/給食なし)